

川根本町 三ツ星保育園

園長 中村 妙子先生

今回、中部地区は榛原郡川根本町立三ツ星保育園を取材させていただきました。十二月月上旬、取材班の集合場所の西焼津駅から四十五キロの道のりを車で走っていきましたが、山間部に入ると紅葉がとても綺麗でした。川根温泉を超えて十分ほど走った川根本町役場のすぐ横に、澄み渡る青い空と周りの山々によく映える平屋のL字型の園舎と広い園庭が見えてきました。十時頃におじゃましましたが、子ども達が元気に園庭を駆け回っていました。



三ツ星保育園さんは昭和三十三年に町立上長尾保育園として設立。昭和四十九年には百二十名の定員となりまし

たが、平成十七年に地名保育園・瀬平保育園と統合し、平成二十一年から定員七十名となりました。

本年度は幼児三十二名、乳児十名 計四十二名の子も達を園長先生、保育士さん九名（なんとその内新卒二名、うらやましいですね）、給食さん二名 計十二名の職員で保育



しているそうです。川根本町は町民が約六千九百人余。少子高齢化や離農して町で働く親世代が多く四校ある小学校も内三校は二年生からは複式学級になって

いるそうで、町では町内専用の無料電話や保育料の手厚い補助などの施策も行われているそうです。取材当日はよく晴れた肌寒い日でしたが、子ども達は園庭でサッカーをしたり、鬼ごっこをしたり。タイヤの跳び箱では五つも六つも「見てー」と言って連続で跳んでいく元気な姿を見せてくれました。また、保育室が園庭と直結していて、トイレも自分で行って、また戸外遊びに戻っていくという姿も見られました。ある保育室には山間部らしく!?保護者からいただいた、しいたけの菌床株があっ



たり、発表会になると父母、祖父母、兄弟姉妹でいっぱいになるというホールも備えていました。

五十センチほどの深さのあるプールでは夏の時期、いっぱい水を溜めて素潜りする子どももいるそうです。それだけでなく、園のすぐ脇にある河内川にも遊びに行き、川遊びも楽しむそうです。園長先生はちよつとくらいわんぱくでも、元気に明るく育ってほしいという思いを込めて保育を行っているそうです。

子ども達の元気な姿を目の当たりにし、その思いが届き、きつと川根を愛する元気な青少年に育っていくのだろうと思えました。

発表会を控えたお忙しい中、快く取材を受けて頂き、園長先生はじめ職員の皆様には心よりお礼申し上げます。有難うございました。